



2023年新春のご挨拶

組合員のみなさまへ

新年あけましておめでとうございます。

2023年、ご家族共々清々しい気持ちで新年を迎えられたことと思います。

平素は連合会活動にご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

2022年、コロナ禍下、CCBJIは大変厳しい状況が続きました。

2021年から2022年の清涼飲料水全体の動向は、売上高は1位、サントリーHD、12,638億円、2位、CCBJHD、7,858億円、3位、ヤクルト本社、4,151億円、経常利益、1位、サントリーHD、2,374億円、2位、アサヒグループHD、1,998億円、3位、大塚HD、1,636億円、CCBJHD、14位、▲216億円、と大変厳しい状況が続いております。

このような中、CCBJIは大幅なコスト構造を変えるべく次々に施策を繰り出し組合員の皆様の労働条件・労働環境・雇用に大きな影響を与えております。

CoCa・Cola BottlersJapanGroupUnionFederationはこのような厳しい環境は理解するものの組合員の生活を守るべく様々な労使協議を行って参りました。

2019年、基本賞与の一方的な減額では団体交渉権をもって厳しい交渉を繰り返したことは皆様にもご理解頂いているところです。2021年、2022年のCCBJI企業業績を見ると賞与制度は崩壊してしまう中、組合員の生活原資の確保に向けて交渉して参りました。2022年、上期・下期は賞与アワードとして何とか基本賞与は確保できました。

2023年、新報酬制度の改定に基づき新たな仕組みを構築すると共によりハイパーフォーマーな人材に対する支給分布を引き上げ頑張った人々の報われる報酬体系を目指すべく協議を行って参りました。また、2022年導入致しました「インセンティブ制度」については、①様々な指標や恣意性のない目標設定と妥当性②正確かつタイムリーなトラッキング③社員の業績向上意識(モチベーション)などを検証すべく、ウエスト労組・East労組が2月より強硬に導入する中、連合会としては現場組合員の意見を基に「設計上の課題・瑕疵について」コマーシャル本部BP、RTM設計担当者、人事部と現在も協議を重ねております。

2022年の回顧は、「様々な指標の課題やテクニカル上の問題で「遡及」、「指標の100%の置き換え」など制度とは程遠いことが露呈しました。このような時こそ組合員の労働条件の確保に向けて労働組合は立ち向かわなければなりません。連合会は会社と「協定書」締結し「インセンティブ制度」をより良いものにすべく2022年、年末まで交渉しております。残念ながら、ウエスト労組、East労組はすでに2023年度においても合意済みであります。微力な労組ではありますが、労働組合の理念と使命感をもって最善の協議を尽くしてまいります。CCBJVの制度は改善傾向にあり評価できますが、RF・CS・VMBUについては越年となりました。

2023年1月6日、19時より再度、会社との労使協議を開催予定です。

CoCa・Cola BottlersJapanGroupUnionFederationはすべてのCCBJI組合員のために2023年も努力をして参りたいと考えています。

急激な企業業績の低迷が組合員のエンゲージメントの低下や雇用不安・将来不安をもたらすことの無いように全力で取り組んで参りたいと考えています。

2023年、組合員の皆様の健康とご家族共々ご活躍されます事を祈念いたします。

謹賀新年



今年もよろしくお祈りいたします。

会長	徳矢光行
副会長	廣瀬聡、由良佳嗣
事務局長	津田剛
中央執行委員	鈴木朗
中央委員	高橋清幸、細田眞治、山本和久

※ 副会長 原田哲季さんは12月末定年退職、喜多康貴は2023年1月より管理職。在任中の功績に感謝するとともにご活躍をお祈りします。

※ 組合本部事務所の連絡番号が変りました。 共済関連・ろうきん関連・その他お問い合わせは、

080-5805-9488 です。 ☒ mitsuyuki.tokuya@ccbji.co.jp 又は本部役員までお願いします。(11月に組合員の皆様に機関紙にて通知済み)